

総合的な学習の時間 3年

Zoom アプリを利用したオンラインによる他中学校との交流授業

担当 小野 智博

【活動の目標】

オンライン上で自分たちが制作した動画について他中学校（福岡県立香椎第二中学校3年生）に提案し、質問に答えたり、感想を聞いたりすることで、学習内容を振り返ることができる。

【 問 い 】

- ・Zoomによる他中学校との交流の場の設定。（問いの工夫Ⅰ）
- ・相手校からの質問に回答したり、提案レポートを視聴したりする。（問いの工夫Ⅱ）

今回 ICT を活用した場面

C4 学校の壁を越えた学習

- ①Zoomで大分大附属中と香椎二中の3年生全教室を教員のPCを使用してオンラインで接続する。
- ②大分大附属中3年生が制作した動画を視聴し、香椎二中の代表生徒が感想を発表する。動画は事前に相手校に送付し、視聴済み）。
- ③大分大附属中の代表生徒が制作意図を発表し、その後、香椎二中からの質問を受け付け交流する。
- ④香椎二中の代表生徒が動画を受けて制作したレポートを発表する（スライド）。

【資料】 交流のようす



【ICT 機器を活用する良さ】

○教室にしながら他中学校との交流ができ、自分たちの学びを発信し、共通理解を深めたり、受け止め方の違いなどを共有したりすることができた。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・今回が初めての取組だったので、全て事前に準備した筋道通りの進行であった。また、相手校も一人一台端末でchromebookを使用しているのだが、十分に活動せずに教員のPCを使用していた。
- ・今後は、生徒の一人一台端末を活用しリモート会議内での発言を自由にできるようにしたり、ジャムボードなどを共有したりすることで協働制作などができるようにしたい。教員のリテラシーの向上が必要。